

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 公民 科目 政治・経済基礎

教科： 公民 科目： 政治・経済基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組 選択者

教科担当者：

使用教科書：（最新政治・経済（実教））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 18歳からの社会参画に向けた意識を高めるため、基礎的な知識・技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的思考、判断を行い、書いてまとめる、発表する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の諸課題について、主体的に課題と向き合い解決する力をはぐくむ。

科目 政治・経済基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解し、社会の在り方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けさせる。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や現実社会に見られる複雑な課題を把握し、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1-1-1 現代国家と民主政治 ・政治、国家、法のあり方について考えさせる。 ・基本的人権の歴史的発展や法の支配について考えさせる。 ・民主政治のしくみと課題を理解させた上で、権力分立と立憲主義の重要性を理解させる。	・民主政治と法 ・民主政治の基本原則 ・民主政治のしくみと課題 ・世界のおもな政治制度	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	8
	1-1-2 日本国憲法と基本的人権 ・日本国憲法の成立過程を踏まえつつ、明治憲法との違いを理解させる。 ・日本国憲法の基本原則を理解させたうえで、憲法の改正手続きについて考えさせる。 ・自由権の内容について理解させる。	・日本国憲法の成立 ・日本国憲法の基本原則 ・自由に生きる権利 ・平等に生きる権利	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	1-1-2 日本国憲法と基本的人権 ・社会権の内容について理解させる。 ・新しい人権について理解させる。 ・公共の福祉について理解させる。 ・日本の安全保障政策の展開について理解させる。 ・こんちの安全保障政策の課題について理解させる。	・社会権と参政権・請求権 ・新しい人権 ・人権の広がりや公共の福祉 ・平和主義と自衛隊 ・日米安全保障体制の変化 ・21世紀の平和主義	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	8
	1-1-3 日本の政治制度と政治参加 ・国会の役割や権限について理解させる。 ・内閣の権限と議院内閣制について理解させる。 ・司法制度のあり方や司法参加の意義について理解させる。 ・地方自治の本旨や住民の権利について理解させる。 ・日本の政党政治の特徴と課題について理解させる。 ・日本の選挙制度の特徴と課題について理解させる。	・政治機構と国会 ・内閣と行政機能の拡大 ・公正な裁判の保障 ・地方自治と住民福祉 ・政党政治 ・選挙制度 ・世論と政治参加	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	1-2-1 現代の経済社会 ・経済的な効率性と公平性の対立関係について考えさせる。 ・政府の規模を念頭にして、経済的な課題への対応を考えさせる。 ・企業の役割と社会的責任について考えさせる。 ・NIから三面等価の原則について考えさせる。	・経済活動の意義 ・経済社会の変容 ・経済主体と市場の働き ・企業の役割 ・国民所得	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	8
	1-2-1 現代の経済社会 ・経済成長と私たちの豊かな生活について考えさせる。 ・金融と通じた経済活動の活性化について考えさせる。 ・中央銀行の役割について理解させる。 ・財政のもつ様々な役割について考えさせる。	・経済成長と国民の福祉 ・金融の役割 ・日本銀行の役割 ・財政の役割と租税 ・日本の財政の課題	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	1-2-2 現代の日本経済と福祉の向上 ・人口減少社会と格差・貧困が経済に与える影響を考えさせる。 ・社会とのかかわりに着目して、これからの中小企業の姿を考えさせる。 ・消費者行政の内容を知り、契約の権利と責任の関係を考えさせる。 ・経済成長と公害問題との関係を考えさせる。 ・労働法の整備状況や、職場の人権保障について考える。	・日本経済の成長と課題 ・中小企業と農業 ・消費者問題 ・公害防止と環境保全 ・労働問題と労働者の権利 ・こんちの労働問題 ・社会保障の役割と課題	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	8
	1-3 現代日本における諸課題の探求 ・取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明させる。	・持続可能な地域社会の在り方を考える ・地域における防災を考える ・財政健全化を考える ・起業を考える ・持続可能な農業を考える ・ワーク・ライフ・バランスの実現を考える ・持続可能な福祉社会の実現を考える	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	8
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	2-1-1 国際政治の動向と課題 ・国内政治や国内法との比較で考えさせる。 ・主要機関や専門機関の働きから考えさせる。 ・国家隊国家の枠組みに収まらない対立構造について考えさせる。 ・ナショナリズムや自民族中心主義との関係から考えさせる。 ・冷戦による対立構造と安全保障のジレンマを確認する。	・国際社会と国際法 ・国際社会の変化 ・国際連合と国際協力 ・こんちの国際政治 ・人種・民族問題 ・軍拡競争から軍縮へ ・日本の外交と国際社会での役割	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	8
	2-2-1 国際経済理論 2-2-2 国際経済の動向と課題 ・外国為替市場における需要と供給の関係を確認させる。 ・先進国と途上国の対立から課題を考えさせる。 ・エネルギー資源の歴史と化石燃料が大量消費される背景を理解させる。 ・援助と開発の過程について確認させる。	・貿易と国際収支 ・外国為替市場のしくみ ・第二次世界大戦後の国際経済 ・国際経済の動向 ・新興国の台頭 ・経済のグローバル化とICTでかわる世界経済 ・発展途上国の課題と展望 ・地球環境問題、資源エネルギー問題 ・経済協力と日本の役割	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	8
	2-3 国際社会における諸課題の探求 ・取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明・論述させる。	・難民問題を考える ・外国人労働者との共生を考える ・自動運転技術を考える ・地球環境問題、資源エネルギー問題を考える ・国際経済格差の是正と国際協力を考える ・持続可能な平和のあり方を考える	【知識・技能】 定期考査、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1